

服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

総合かぜ薬

# ジキナT<sup>®</sup>顆粒

（顆粒剤）

◆ジキナT<sup>®</sup>顆粒は、1才から大人まで服用可能な家族で使える総合かぜ薬です。熱を下げるアセトアミノフェンをはじめとした7種類の有効成分を配合し、のどの痛み・鼻水・発熱などのかぜの諸症状を緩和します。

## ⚠ 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。）

1. 次の人は服用しないでください。  
(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人  
(2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。  
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。  
（眠気等があらわれることがあります。）
4. 服用前後は飲酒しないでください。
5. 長期連用しないでください。

### 👤 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。  
(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人  
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人  
(3)授乳中の人  
(4)高齢者  
(5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人  
(6)次の症状のある人  
高熱、排尿困難  
(7)次の診断を受けた人  
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

(裏面もお読みください)

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

□のかわき、眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

## 効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒（発熱によるさむけ）、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

## 用法・用量

次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に水またはぬるま湯で服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
15才以上（成人）	1 包	3 回
11才以上15才未満	2/3 包	
7才以上11才未満	1/2 包	
3才以上7才未満	1/3 包	
1才以上3才未満	1/4 包	
1才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

(1)定められた用法・用量を厳守してください。

(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

(3)2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

## 成分・分量

1日量3包(1包1g)中

成 分	分 量	は た ら き
アセトアミノフェン	900mg	痛みを抑え、熱を下げます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	くしゃみ、鼻水、鼻づまりを抑えます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支を広げ、せきをしずめます。
無水カフェイン	50mg	鎮痛作用を助けます。
チアミン硝化物（ビタミンB <sub>1</sub> ）	10mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
リボフラビン（ビタミンB <sub>2</sub> ）	10mg	
カンゾウ末	200mg	炎症を抑え、たんを出しやすくします。

添加物：バレイショデンプン、D-マンニトール、セルロース、二酸化ケイ素、ヒドロキシプロピルセルロース、スクラロース、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg 含有

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤の服用により尿が黄色くなるがありますが、これは本剤中のリボフラビンによるものなので心配はいりません。

## 保管及び取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

(2)小児の手の届かない所に保管してください。

(3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）

(4)1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。

(5)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品（学術室）

電話 048-648-1118 9：00～17：30（土、日、祝日を除く）

製造販売元 **株式会社 富士薬品**

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地